

個別保健事業の評価(事業7)

事業名	がん検診					
年 度	令和 5 年度・令和 6 年度					
目的・概要	がんは、高齢化の進行とともに罹患率は増加しており、本市においても死因の第 1 位となっている。また、一方で治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加しており、がんとの共生が重要課題となっている。がん検診等の受診勧奨を積極的に推進し、がんの予防・早期発見・早期治療につなげることで患者のQ O Lの向上を目指す					
実施内容	・概要：がん検診受診率向上のために、国の示す「がん予防重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」（以下国の指針という）に従って、5 がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）について市民が受診しやすい検診の体制整備を行う。 特定健康診査対象者へのがん検診に関する情報提供とともに受診勧奨を行う。 ・対象者：各がん検診とも国の指針に沿って対象者を設定。 ・周知：特定健康診査対象者への健診受診券送付時に、けんしんガイド（受診できるがん検診等が一覧になったパンフレット）を同封。 たま広報、多摩市公式ホームページにて周知。 ※大腸がん検診の要精密検査結果の把握については、精密検査実施医療機関から市へ報告書が届き結果を把握している。未受診者については市から本人に受診勧奨と結果把握の調査を行い、尚、不明な場合は一次医療機関（大腸がん検診を実施した医療機関）あてに結果把握のための調査を実施、翌年度末以降に確定する。（他のがん検診も同様）					
評 価	評価指標	策定時 (令和 4)	経年変化			
	大腸がん検診の受診率（％）	37.0	年 度	令和 5	令和 6	令和 7
			目標値	増やす	増やす	増やす
			実測値	39.1	41.4	—
	大腸がん検診によるがん発見数（件）	17 件	年 度	令和 5	令和 6	令和 7
			目標値	—	—	—
実測値			14	未確定＊	—	
＊…法定報告値は毎年 11 月に発表となるため記載不可						
評価の まとめ	・令和 5 年度、令和 6 年度 平成 20 年（本健診開始時以前）より国保特定健診と同時に大腸がん検診を受診できることとなったため、受診環境を改善したことにより受診率は高い数値を継続している。					
令和 7 年度 以降の方針	・引き続き個別通知による、わかりやすいがん検診の情報提供と受診勧奨を継続するとともに、要精密検査の結果把握を行い、がん検診の精度管理に努める。					